

膵神経内分泌腫瘍の病理診断と 分子病理学的特徴



平林 健一 先生

富山大学学術研究部医学系（病理診断学講座） 教授
富山大学附属病院病理部病理診断科 部長

ご略歴

2002年 東海大学医学部卒業
2004年 東海大学医学部附属病院臨床研修医（前期）修了
2008年 東海大学大学院医学研究科先端医科学専攻博士課程修了
2008年 東海大学医学部基盤診療学系病理診断学 助教
2011年 Verona大学、Ospedale Sacro Cuore Don Calabria病院留学
2013年 東海大学医学部基盤診療学系病理診断学 講師
2019年 東海大学医学部基盤診療学系病理診断学 准教授
2022年 現職

学会活動

日本病理学会 病理専門医・指導医・評議員、日本病理学会 分子病理専門医
日本臨床細胞学会 細胞診専門医・指導医・評議員、日本膵臓学会 認定指導医

研究キーワード

神経内分泌腫瘍、細胞間接着分子、miRNA、人体病理学、膵臓

担当 金沢医科大学 臨床病理学 山田壮亮 教授

共催 北信がんプロ ※ がんプロe-learning科目の演習対象となる講演会です。

問い合わせ先 金沢医科大学教学課（大学院医学研究科担当） d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp

膵神経内分泌腫瘍（pancreatic neuroendocrine neoplasm：PanNEN）は、neuroendocrine tumor (NET) と neuroendocrine carcinoma (NEC) に亜分類される。NETとNECは病理形態学的に診断されるが、その分子学的特徴や予後・薬剤感受性は大きく異なる。また、近年では、分子病理学的手法に基づいたNETのサブタイプ化が報告されている。本講演では、PanNENの病理診断のポイントと、予後や治療効果予測にかかわる分子病理学的特徴について概説する。

